

## 双葉町復興まちづくり計画（第二次）実施計画

## 改定内容（進捗状況）概要

- H31年3月改定予定の実施計画（H30年度改訂版）の各事業のうち、主なものを以下のとおり整理。
- 全122施策のうち、中野地区での企業誘致による雇用機会の確保など、
  - ・計画通りまたは早期に完了した事業…11事業
  - ・計画通りまたは早期に着手した事業…15事業
 となっており、着手中の事業については、今後も着実に事業を推進する。
- 一方、まちなか再生ゾーンの整備など、計画より着手または完了時期を延期した事業は15事業となっている他、事故の経験・教訓を全国に発信する「語り部」の育成など、実施時期が未だ明確でない事業は14事業。それぞれ延期の原因の精査や、実施時期の明確化を行うことにより、進捗の回復や早期事業化を図ってまいりたい。
- また、これまで実施時期や実施期間が明確でなかったものの、今年度において明確となった事業は、医療体制の確保など、15事業。

## 1. 計画より早期（または計画通り）に実施中（または完了）もの

検索番号	53（説明資料P16）
施策名	勿来酒井地区復興公営住宅の整備
事業	ア) 入居者の募集 イ) 造成工事 ⇒ H29年度完了 ウ) 建築工事 ⇒ H29年度完了
説明	・H29年度末入居開始。整備は完了しているが、現在の入居率は約8割となっている。

検索番号	77（説明資料P28）
施策名	町民のニーズに沿った情報提供
事業	ア) 線量の最新情報 イ) 町民の活動状況 ウ) 各地で開催されるイベント情報の提供（県内外の避難先情報含む） エ) 有害鳥獣の状況・注意喚起・発信 オ) 避難先情報サイトの設置 カ) 賠償手続等に関する情報提供 キ) 町のホームページ随時見直し
説明	・町公式HP、タブレット端末、広報紙「広報ふたば」、コミュニティ紙「ふたばのわ」を媒体とした町の情報発信を実施中。

## 2. 計画より着手または完了時期が早まったもの

検索番号	62 (説明資料 P20)
施策名	営農再開等支援
事業	ア) 営農再開支援制度等の要件緩和や周知等による制度活用促進 イ) 営農再開者への支援等 ウ) 保全管理組合等による農地の管理・保全
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作再開モデルゾーンにおいて、農地除染を行う前提となる農地保全管理の体制を整える方向が確認され、30年度中に農地除染に着手。</li> <li>一方、販路の確保も含め、営農再開に係る方向性を打ち出す必要があることから、現在営農再開ビジョンの骨子を作成中であり、30年度内策定予定。31年度にビジョン本体を策定するとともに、34年度の営農再開を目標に水路の改修や販路の確保等に取り組む。</li> </ul>

検索番号	63 (説明資料 P21)
施策名	就業支援
事業	ウ) 町内での雇用創出対策
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>中野地区復興産業拠点への立地募集及び産業交流センターへのテナント募集を実施中であり、平成30年7月、8月にそれぞれ1件ずつ立地協定を締結（製造業2件）している他、約20件につき協定締結に向け細部協議中。</li> <li>町民への周知など、実際に町民の雇用に結びつけている取組が今後不可欠。</li> </ul>

## 3. 計画より着手または完了時期を延期したもの

検索番号	4 (説明資料 P1)
施策名	帰還する町民及び就業者用住宅（新市街地ゾーン）
事業	ア) 構想・計画 イ) 基本設計・実施設計 ウ) 建築工事
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅西地区に係る住宅整備は、基本構想・計画を平成30年度内に策定予定としていたが、戸数の精査やコンセプトの決定に関し、町民や、進出企業等の意向調査に十分な時間をかけることとし、31年6月までの完了予定に変更。</li> <li>住宅整備自体は、平成34年春の帰還開始に向け整備を進める目標には影響なし。平成31年7月以降、基本設計に着手。</li> </ul>

検索番号	9, 11, 12, 13 (説明資料P2)
施策名	基盤整備(まちなか再生ゾーン)、駅前交流拠点、歴史文化交流拠点、沿道交流拠点の整備
事業	ア) 基本設計・実施設計 イ) 基盤整備工事
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅東の地区では、現在環境省による建物解体や除染が進捗中である他、地区に点在する各種公共施設の被害状況の確認を進めており、公共施設の再配置に係る検討が不可欠。</li> <li>・ まちづくり会社を発足させ、31年4月頃活動開始予定。</li> <li>・ 駅東の駅前広場は、予定通り32年春に完成予定である一方、広場前における特定公益的・特定業務施設用地の活用方針は未策定。</li> <li>・ 駅西のような面的な整備は実施せず、地権者の土地活用意向を確認しながら、まちづくり会社の関与により賑わいの早期再生を図りたい。</li> </ul>

検索番号	47 (説明資料P14)
施策名	応急仮設等の環境改善
事業	ア) 再契約支援 イ) 点検ヒアリング・修繕等の住環境整備 ウ) 合併浄化槽等生活関連施設の法定点検の実施
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急仮設住宅等の利用期間が1年延長されたことにより、町の計画上の期間も延長したもの。一方で、下記50番の通り、恒久住宅への移行を進めることも重要</li> </ul>

検索番号	50 (説明資料P15)
施策名	仮設暮らしの解消に向けた取組(公営住宅等への入居の支援など)
事業	ア) 復興公営住宅等の恒久住宅への移行啓発 ウ) 交通手段の確保
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勿来酒井団地の入居率はまだ約8割であり、更なる入居の促進が必要。</li> <li>・ 一方、復興支援バスは、現行制度上仮設住宅を発着とする必要があり、南台仮設から入居者が退去すると支援バスの運行が打ち切りとなる恐れ。勿来酒井団地等に係る交通手段は確保済み。</li> </ul>

#### 4. 実施時期や期間が明確になっていないもの（点線矢印）

検索番号	89（説明資料P34）
施策名	インフラ等の被害状況調査・復旧
事業	ク）農林業施設の管理・保全の実施
説明	・東北農政局での直轄調査が進行中であり、その終了目途が立っていない。 62の事業（営農再開支援）に影響が出ないように、調査の早期終了を促すとともに、営農再開に必要な施設を優先的に早期実施できるようスケジュールの調整を行う。

検索番号	91（説明資料P35）
施策名	防犯・防火対策
事業	カ）双葉町消防団の町内での活動再開
説明	・県主導による消防団再編支援会議にて検討、H30年度内に消防団の定数を改正予定。H31年度に関係先との調整、検討を開始。検討がまとまり次第、屯所の整備を行う予定。

検索番号	94（説明資料P36）
施策名	一時帰宅の改善
事業	オ）主要道路の自由通行化
説明	オ）県道35号の特別通過交通制度の適用について、内閣府、行政区と調整中であり、31年度内の実現を目指す。一方、国道288号線については、沿道に家屋が多く、制度の適用に伴うバリケードの設置が一時帰宅時の利便性を損なう可能性があることを踏まえ、関係する行政区との調整を行い、実施時期について慎重に検討中。

検索番号	100（説明資料P40）
施策名	震災・事故の経験や教訓・復興への取組を発信
事業	ア）震災・事故の教訓に関する資料の展示 イ）事故の経験・教訓を全国に発信する「語り部」の育成
説明	・県のアーカイブ拠点施設、復興祈念公園等の施設整備の概要の具体化や、町のアーカイブ事業の方針決定後着手。

5. 実施時期や期間が明確となったもの（点線から実線矢印）

検索番号	25（説明資料P7）
施策名	水田再生活用拠点等
事業	イ）事業化
説明	・販路の確保も含め、営農再開に係る方向性を打ち出す必要があることから、現在営農再開ビジョンの骨子を作成中であり、30年度内策定予定。31年度にビジョン本体を策定するとともに、34年度の営農再開を目標に水路の改修や販路の確保等に取り組む。

検索番号	97（説明資料P38）
施策名	文化財・伝統文化等の保存・管理
事業	ク）中学校体育館の「緞帳」のアーカイブ化
説明	・中学校体育館・町体育館の「緞帳」は南小学校体育館に一時保管を行った。アーカイブ化については、建物被害状況調査実施後に着手予定。

検索番号	115（説明資料P45）
施策名	帰還計画の作成
事業	ア）帰還計画の作成
説明	・「避難指示解除に関する考え方」を平成30年12月25日に公表し、平成34年春の帰還開始目標に向け、帰町計画を平成32年冬頃までに策定する旨を決定。

検索番号	118（説明資料P46）
施策名	その他医療・介護施設等の再開方針の整理・検討
事業	ア）医療体制（病院・診療所）の再構築 イ）介護施設等の再開 ウ）二次医療体制の再構築
説明	・平成34年春の帰町開始時において、医療体制が確保されていることが必要であることから、浪江町の町立診療所や富岡町の福島県ふたば医療センター附属病院など、近隣自治体と連携することを含め、今後具体的な対応方針を検討する。